

社協だより なかつ

10月号 2024
no.90



7月、おもちゃドクターの養成を目的にボランティア講座「おもちゃドクター養成編」を開催しました。講師には、中津市近郊で活動されている「おもちゃ病院ややま」の会員（ドクター）を招き、ドクターの心得や修理のポイントなどをお話いただきました。参加者は20代から80代まで幅広い年代の方が参加され、楽しい雰囲気の中で行われました。



中津のまちをよくするしくみ

赤い羽根共同募金がはじまりました



赤い羽根共同募金は、子どもたちや高齢者、障がい者などを支援する様々な福祉活動に使われています。

私たちが住む中津市で募金をすると、その大切なお金は中津市内の活動の支援に使われます。

赤い羽根共同募金は『じぶんの町を良くしたい』という意志のある募金です。

物価高騰等により厳しい経済状況が続いていますが、今年も皆様のあたたかいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和6年10月



大分県共同募金会 中津市共同募金委員会 会長 白井 辰彦

【令和5年度の募金実績】

13,927,745円

赤い羽根共同募金 8,170,551円

歳末助け合い募金 5,757,194円

いろいろな募金方法があります

募金箱で 街頭で 学校から

ご家庭から 自動販売機で

職場から 店舗から グルメ募金で



令和5年度の募金の使い道（一部紹介）

個別募金は、各地区の自治委員会に、企業募金は、民生委員児童委員協議会にご協力を頂いています。

住民主体の 小地域支え合い活動支援



身近な地域の中で、高齢者から子どもまで誰でも立ち寄れる場として実施している寄り合いの場を支援しています。

市内89か所で、住民同士の交流・関係づくり・介護予防を目的に実施されています。

福祉教育推進事業 「わいわい福祉ひろば」



「福祉教育」として、市内近郊の視覚、聴覚、肢体の障がい者及びボランティア、高齢者の皆さんが、市内の小学校に出向き、生活体験の講話や疑似体験学習を通し、障がい理解・高齢者理解等の福祉意識の啓発を図っています。

令和5年度は、市内小学校20校で63回開催し、児童2,730名の参加がありました。

福祉啓発イベントの開催



『シン・みんなのふくしまつり』と題し、さまざまな「ふくし」をテーマに、市内のボランティア団体、学校、店舗などの協力を得て、子どもから大人まで楽しめるイベントとして開催。

令和5年度の参加者数 約700名

福祉・ボランティア団体活動支援

福祉・教育・環境等、様々な分野で地域づくりにつながる活動を行うボランティア団体・福祉団体を支援しています。

福祉用具等貸出事業

在宅で生活する高齢者や障がい者に対して、介護機器（電動ベッド・車いす）を貸し出し、要介護者及び介護者の介護負担を軽減し、在宅生活の支援を行っています。

その他

- 寝たきり高齢者見舞品配布
- 認知症の理解促進
- 障がい者社会参加支援
- 災害支援・生活困窮者等食料支援



令和7年度 「一般公募」募集します!



令和6年10月より令和7年度の助成金を希望する団体の募集（一般公募）を行います。
「一般公募」とは、中津市内で福祉活動を行う団体・グループが実施する「地域における福祉の発展につながることを目的とした事業」に対して行うものです。

例えば…



子どもから高齢者まで
多世代がつながる交流
をしたい!

住民同士の助け合いを
テーマに、地域防災の
研修をしたい!



障がいのある方の社会参加
や生きがいづくりにつな
がる活動をしたい!



対象事業にかかる経費の5分の4以内を助成します。（1団体20万円を上限）

なお、助成を受けるためには申請が必要となりますので、下記の期間内に申請書を提出してください。
様式は、中津市社協のホームページに掲載しています。対象となる団体や事業など、詳しくは中津市社協までお問い合わせください。

助成金配分事業は、共同募金を財源として行われている事業です。

募集期間 令和6年10月1日(火)～令和7年1月31日(金)

【お問合先】中津市社協 地域福祉課 地域福祉推進係 TEL 0979-23-2095

令和5年度の一般公募助成事業（一部紹介）

もみじ園育成会 「スポーツ交流会」



～もみじ園より～

もみじ園利用者と地域の方々をはじめ、ボランティア団体や児童や学生の皆さんなど、未就学児から高齢者までの多くの人々に参加していただいています。耶馬溪町内への案内を地道に行い、新たな参加者を増やしており、少しずつ福祉の輪が広がっています。体を動かし心地よい汗を流しながら交流を深める場として、そして、実践活動の場として福祉を担う人材育成にとどまらない価値のある機会を提供することができました。

中津市手をつなぐ育成会 「障がい者(児)の社会参加の機会を創設する活動」



～ややま園より～

ややま園の利用者が日中活動のなかで、地域の訪問活動やメンテナンスの活動を行い、地域の方と接し障がい者(児)の理解促進の一助となりました。訪問販売、メンテナンスともに、リピーターの声も多く、障がい者(児)が地域において認知していただけていることを実感できました。

また、社会参加した利用者も地域で活動することに喜びを感じることができています。

令和5年度 事業報告

法人組織の運営

安定した法人運営のため組織体制の見直しや職員研修、委員会活動を実施し、職員の資質向上などに取り組みました。

○役員会の開催

・理事会（16名）5回 ・評議員会（33名）3回 ・監査会（2名）1回

○職員体制（令和6年3月31日時点）

・正規職員124名 ・嘱託職員45名 ・非常勤職員165名
・再雇用職員10名 計 344名

○各種会議及び委員会の開催 ○中津市共同募金委員会の運営



中津駅前街頭募金

住民主体の地域づくりの推進

住民同士が主体的に交流できる場づくりを推進するため、住民組織の活動支援を行いました。

○寄り合いの場等の支援

○地域福祉ネットワーク協議会等への働きかけ

○住民型有償サービス活動の支援



ネットワーク協議会で
地域課題を共有



有償サービスのマネジャーと
ケアマネジャーの合同研修会

福祉啓発・人財育成

住民の福祉に対する理解の推進を目的に福祉啓発のための事業に取り組みました。また、福祉人財の育成のために様々な講座を開催しました。

○わいわい福祉ひろばの実施

・市内小学校へタレントを派遣

○シン・みんなのふくしまつりの開催

○各種講座の開催

・地域福祉講座

・被害者支援ボランティア講座

・ボランティア養成講座

・ボランティア入門講座 等

シン・みんなの
ふくしまつりの様子



わいわい福祉ひろばで
聴覚障害について学ぶ



福祉避難所についての学習会

ボランティア・市民活動の推進

ボランティア・市民活動センターにボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア活動の支援等を実施しました。

- ボランティア団体の登録
- ボランティア保険加入の推進
- ボランティア・市民活動情報紙「ぺんぎん」の発行
- ぼらかふえの開催 ○春・夏のボランティア体験の実施



「ぼらかふえ」で交流

相談支援と連携体制づくり

住民から困りごとなどの相談に対し、地域の多分野の関係機関とのネットワークを活用して、必要な支援の提供を行いました。また、相談業務を通じ、地域の様々なニーズを把握し、包括的な支援を行っていくために社会資源の開発や地域づくりを行っていききました。

- 暮らしの総合相談窓口
- 地域包括支援センター
- 生活福祉資金貸付
- 生活困窮者自立支援（就労支援）
- ひきこもり支援
- 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートセンター）
- 成年後見支援センター ○法人後見事業
- 多機関との連携体制づくり



フードドライブで
集まった食品
(12月実施分)



nico キッチン



フードパントリー
食品セットを渡す

高齢者福祉の推進

介護が必要な状態になることをできる限り予防し、住み慣れた地域でいつまでも自立した自分らしい生活を送ることができるよう介護予防に関する取り組みを推進しました。

- 地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）の設置
- 福祉の里づくりサポーター
- 認知症地域支援推進事業
- ・オレンジカフェの開催 ・認知症学習会 ・SOS声掛け模擬訓練の開催



つながりの場「よりあ」で
人生会議を学ぶ

在宅介護・福祉サービスの推進

住み慣れた地域で安心して自宅での生活を続けていくために、介護・福祉サービスを提供しました。安定した事業運営を行っていくために事業所の統合を行い経営基盤の強化を図りました。

- 通所介護事業（5事業所※生きがい元気アップクラブ含む）
- 訪問介護事業（1事業所） ○訪問入浴介護事業（1事業所）
- 居宅介護支援事業（2事業所）
- 生活支援ハウス・ホームの運営（2か所） ○福祉用具貸与事業



生活支援ハウスの皆さんと
サッポロビールにバスハイク

高齢者福祉施設の運営

入所者の皆様が安心して過ごせるように日常生活の介護やリハビリ、健康管理などのケアを提供しました。また、地域に開かれた施設を目指し、地域交流を積極的に推進し、入所者の社会参加を支援しました。

- 特別養護老人ホームやすらぎ荘の運営
- 養護老人ホーム中津市豊寿園の運営



能登半島地震の街頭募金(豊寿園)

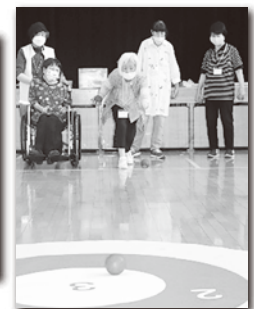
障がい福祉の推進

障がいのある方に対して、サービスを提供し、自立した在宅生活が継続できるよう支援を行いました。また、活動の場と参加の機会を提供することで心身の健康増進と自立のための能力の習得を支援しました。

- 居宅介護事業
 - ・家事援助
 - ・通院等介助
 - ・同行援護事業
 - ・訪問入浴サービス事業
- 移動支援事業
- 障がい児(者)余暇活動支援事業
 - ・てくてく
 - ・Summerてくてく
- 障がい者ミニデイサービス(鈴の音)
- 障がい者等生活環境整備事業



てくてく
～サウンドテーブルテニス～



鈴の音

子育て支援・児童福祉の推進

児童に遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を支援しました。また、未就学児とその保護者等が交流できる場を作り、地域における子育て支援の拠点として取り組みました。

- 三光児童館事業
 - ・子育てひろば、ともだちひろばの開催
- 放課後児童クラブ(5クラブ)
- ファミリー・サポート・センター事業



子育てひろば
～リトミック～



児童館の社会見学
～レゾナックドームにて～

広報活動

広報紙等を発行し、地域の福祉情報の発信を行いました。

- ホームページのリニューアル
- 社協だよりの発行(年3回)
- エリア広報紙及び各事業だよりの発行
- 児童館だより
- 子育てひろばだより
- ともだちひろばだより(4回)

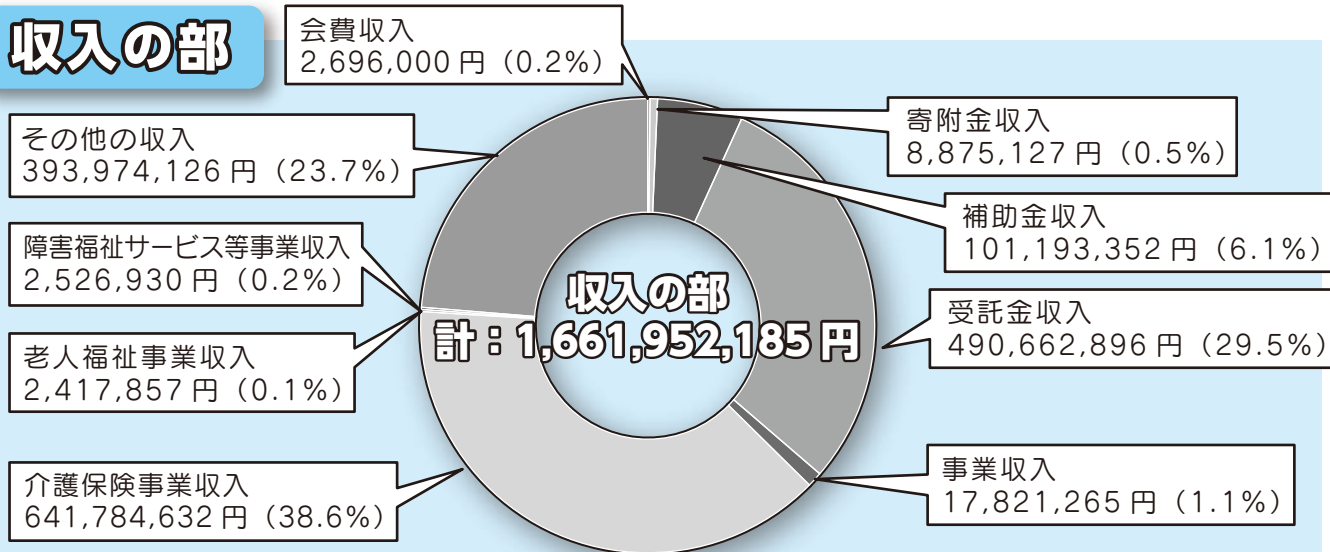
その他の事業

他にも色々な事業に取り組んでいます。

- 福祉バス運行事業
- 各種団体への助成金の交付
- 中津市教育福祉センター等の施設管理運営
- 災害見舞金支給事業
- 福祉に関する行事等の後援

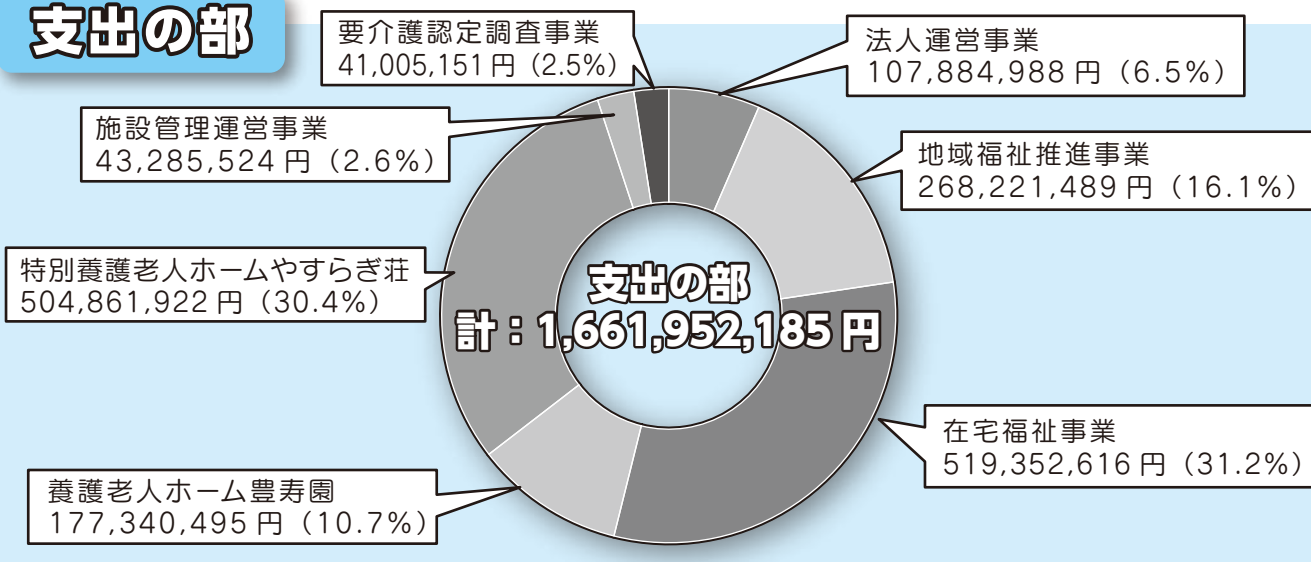
令和5年度 中津市社会福祉協議会 決算報告

収入の部



会 費	社協一般会費、特別会費	介 護 保 険 収 入	在宅介護や施設介護による収入
寄 付 金	香典返し、個人・団体からの一般寄付、物品寄付	障 害 福 祉 サ ー ビ ス 収 入	障がい者の在宅福祉サービスにかかわる事業収入及び利用料収入
補 助 金	市からの補助金収入	老人福祉事業収入	措置事業における事業収入
受 託 金	市や大分県社協からの受託事業の収入	そ の 他 の 収 入	繰越金、その他の活動収入

支出の部



法 人 運 営 事 業	法人の管理運営費	やすらぎ荘事業	特別養護老人ホームの運営
地域福祉推進事業	地域福祉ネットワーク支援、各種相談援助事業、広報啓発	豊 寿 園 事 業	養護老人ホームの運営
在 宅 福 祉 事 業	児童館、児童クラブ、デイサービス、ホームヘルプ、訪問入浴、居宅介護支援、生活支援ハウス、障がい福祉サービスなど	施設管理運営事業	教育福祉センター、本耶馬溪総合福祉センター、耶馬溪介護研修センター、山国社会福祉センター その他施設管理
		要介護認定調査事業	介護保険の認定調査事業

『夏のボランティア体験月間2024』が今年も行われました



7月下旬から8月末までの夏休みを利用して、夏のボランティア体験月間を実施しました。

この取り組みは学生や社会人を対象に、ボランティア活動の広がりを目指して実施しています。今年も市内の福祉施設、ボランティア団体に受入協力をいただき、200名を越す方が参加してくださいました。



参加された皆さんは、事前に自分の進路や想いから行き先を決め、当日は生き生きと活動をしていました。また体験後のアンケートでは、「来年も参加したい」という声をたくさんいただきました。

毎年行っていますが、今年も参加者の皆さんはかけがえのない経験ができたようです。また来年も多くの方のご参加をお待ちしています。

体験者の参加動機

- 【高齢者施設希望者】祖父母とのかかわり方を学びたい。
 - 【障がい者施設希望者】自分にできることで関わりたい。
 - 【保育園希望者】教科書で習わないことを学びたい。
 - 【児童クラブ希望者】自分が通っていたのでお返しをしたい。
- など、いろいろな想いがあふれていました



中津市市民後見推進研修会を開催しました！

6月、中津市市民後見推進研修会『想いに寄り添う市民後見人』を開催しました。今回は「人生会議」「成年後見制度」「市民後見人」をテーマとして、2部構成で行いました。

第1部は、地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）でもあり、「自分らしい『生き』『死に』を考える会」理事の田沢あづさ氏に、「人生会議」について、カードゲームを通じてわかりやすく教えていただきました。グループに分かれて参加者同士和気あいあいの雰囲気ですべての人生を考える機会となりました。

第2部は大分大学で憲法を専門とされ、中津市市民後見推進協議会の委員長を担っていただいている青野篤教授に成年後見制度についてお話しいただきました。



講師の田沢氏(左)と青野氏

続いて、大分市で市民後見人として活動されている方や中津市社協の法人後見支援員として活動いただいている方、「なかつ市民後見人の会“らいとふる”」の方にご登壇いただき、青野氏のコーディネート



講座の様子

によりそれぞれの立場での活動報告をしていただきました。

4人の方々のお話から、「市民後見人」の活動は、迷い悩みながらもその人の最期まで寄り添うことで、得られる喜びも大きいということを感じる時間となりました。

中津市社協では、9月から第7期となる市民後見人養成講座を開講しています。

チャリティーイベント

～能登半島地震への支援及びウクライナ人道支援～

7月に能登半島地震への支援とウクライナ人道支援を目的に、チャリティーイベントを開催しました。

この取り組みには、NPO法人リエラをはじめ、市内社会福祉施設等のご支援・ご協力により、当日は276名（リモート参加を含む）の参加者がありました。参加者からお預かりした募金は、義援金・支援金として送金致します。募金していただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

行事の内容は、

【第1部】昨年6月まで日田市にウクライナから避難していた、ボンダレンコ・イリナさんとそのご家族が帰国後、早1年が経過し、その後のウクライナでの生活の様子など、近況をリモートにより報告していただきました。

【第2部】今年1月の能登半島地震発生後、支援のため現地で活動するNPO法人リエラの松永代表理事に、現在の復興・復旧の状況と今後求められる支援、また福祉現場のBCPの重要性についてお話をいただきました。

今後も出来る支援を考え、行動していくことが大切であると感じました。



今回の募金総額 124,647円

(内、ウクライナ人道支援金61,946円、能登半島地震支援金62,701円)

NPO法人リエラの活動を詳しく知りたい方は、NPO法人リエラまたは中津市社協のホームページから支援報告書をご覧ください。

地域の“居場所”の大切さを話し合う ～地域サロン座談会～

7月6日、市内で地域サロンを運営している方が集い、お互いの活動について話し合う「地域サロン座談会」が開催されました。普段の様子やそれぞれのサロンの魅力のほか、立ち上げた際の想いや今後の夢などについても語り合い、人とひととのつながりが生まれる地域サロンの大切さを改めて感じる機会となりました。

一人ひとりの強みや得意なことが発揮できて、それをみんなで楽しめるといいよね。

サロンに参加することで明るく前向きになった方もいて、そんな変化が嬉しいです。



今お世話をしているボランティアも、いずれは利用者として参加できる…そんな居場所にしたいですね。

地域サロンってなあに？

地域の空き家などを活用して、誰もが集える場所として週に1～2回開催されている寄りの場です。市内には現在6か所の地域サロンがあります。



介護保険サービス豆知識

第4回

訪問入浴サービス編

Q&A



◎ 訪問入浴ってなに？

移動入浴車で訪問し、介護用の浴槽を居室に持ち込み、専門スタッフ3名で入浴サービスを実施します。

うち1名は看護職員で、入浴前後にご利用者の健康観察等を行うことで安全で快適な入浴を提供します。

市内では、中津市社協で実施しています。

◎ どんな人が利用できるの？

介護保険で「要支援1〜2、要介護1〜5」と認定された方で、次の①から⑤のいずれにも該当する方

- ① 居宅介護を利用して居宅の浴槽での入浴が困難
- ② 生活介護を利用することが困難
- ③ 家族による入浴の介護が困難
- ④ 訪問入浴が可能な健康状態
- ⑤ 介護保険制度の対象外

◎ サービスを利用するにはどうしたらいい？

介護保険の方 お近くの居宅介護支援事業所、包括、市役所窓口、社協窓口など 障がいのある方 市役所窓口、障がい者相談窓口、社協窓口など

◎ 利用料はいくらなの？

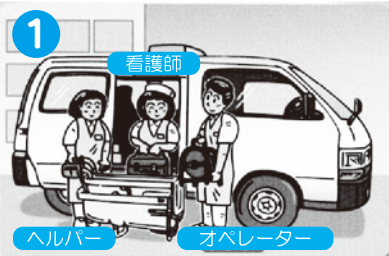
サービス利用料の1割〜3割を自己負担

(例) 自己負担が1割の方の基本的な費用

1回あたり 1,266円

※事業所の体制により加算・減算があります

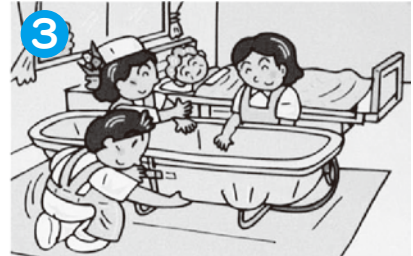
訪問入浴介護サービスはどのように提供されています。（標準的手順）



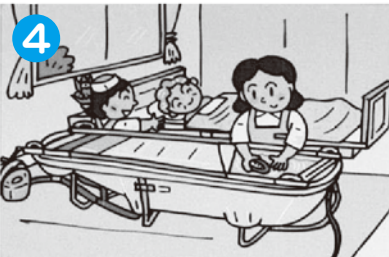
準備を整え、看護師・ヘルパー・オペレーターの三人一組でご要望に応じた日時に訪問いたします。



看護師が必ずお伺いして、血圧・体温・脈拍などを測定し当日の入浴の可否判断を行います。



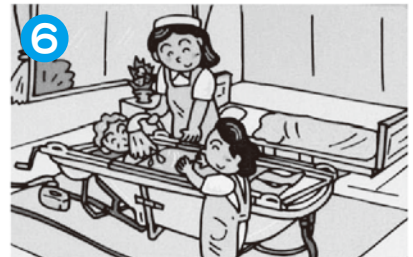
ベッドのそばに浴槽を設置して入浴の準備。バスタブシートを敷きますから床（畳）を濡らす事はありません。



さあ、浴槽にお湯を供給した湯温を確認します。



待っていた入浴のひとつ。「よろこびの一日」を感じる時間です。



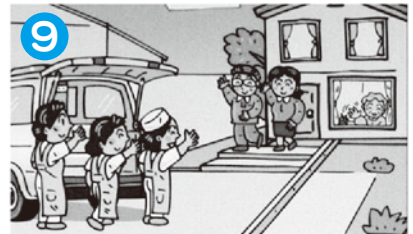
上がり湯はシャワーをたっぷり浴びて、さわやかに。



着衣の交換が終了したら、髪もドライヤーで念入りに。身だしなみを整えて。



入浴後の健康チェックを行い今日はおしまい。「今度のお風呂はいつきてくれるの？」



次回の訪問を楽しみに！

訪問入浴サービスについてのお問合せ・ご相談はこちら

介護保険の方：お近くの居宅介護支援事業所、包括、市役所、社協

障がいのある方：市役所、障がい者相談事業所、社協

その他いろいろ相談したい方：訪問入浴サービスセンター社協

担当：橋本、荒金 TEL 0979-53-2245

※「標準的手順」のイラスト等については許可を頂いて株式会社デベロ様のホームページより引用しております。

福祉用具(車いす・電動ベッド)貸出について

中津市社協では、在宅で生活している方で、身体状況により、生活に支障がある方に対して、車いすや電動ベッドの貸出事業を行っています。

貸し出しする福祉用具は、地域にお住いの皆さまや様々な団体（自治委員・民生児童委員・企業等）のご協力による“赤い羽根共同募金”や学校等のご寄付で頂いたものを活用して、地域支え合い活動として実施しています。

◇貸出の対象になる方◇（車いす・電動ベッド共通）

中津市内にお住まいで、福祉用具の使用を必要とされる方（年齢不問）

※原則として、介護保険サービスや障害福祉サービスなど公的制度で福祉用具の利用が可能な場合は対象となりません。

ただし、下記条件に当てはまる場合は貸出対象となる場合があります。

- ①公的制度ではレンタルや助成が難しい方
- ②ケガ等により、一時的に必要となった方
- ③病院や施設から一時的に帰宅となり、必要となった方

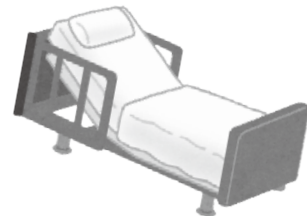


◇電動ベッドの運搬について◇

貸出時の運搬や貸出中の移動などは、申請される方をお願いしています。運搬手段がない方は、別途ご相談ください。

返却される場合は、下記の連絡先までご連絡いただければ、中津市社協で回収いたします。

※返却の際は清掃をお願いします。



◇その他◇

- ・故意・過失により破損や紛失等があった場合、修理代をご負担いただくことがあります。
- ・住所変更等、貸出申込み時の住所・連絡先の変更があった場合は、下記までご連絡ください。

◆申請方法◆

社協窓口に備え付けの申請書に必要事項をご記入の上、提出してください。



【お問合せ先】中津市社協 地域福祉課 地域福祉推進係
TEL 0979-23-2095

“地域支え合い活動”がわかる3冊の紹介



中津市社協では、地域の活動を知っていただくために数年前から、活動紹介の冊子づくりに取り組んでいます。これまで「地域福祉ネットワーク協議会編」「住民型有償サービス編」そして今年は、市内各所に広がる“サロン活動”等についてまとめた「寄り合いの場編」を作成してきました。

どの活動も、「地域福祉」を進める基となる“住民主体の活動”です。

これから始めたいと思っている方、活動はしているけど改めて知りたいという方、地域支え合い活動に関心のある方・・・たくさんの方に読んでいただければと思っています。

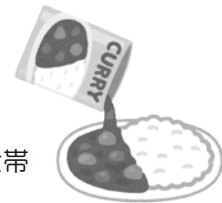
【お問合せ先】中津市社協 地域福祉課
TEL 0979-23-2095

フードバンクnico からののお知らせ

まんぷくnicoキッチン&パントリーを開催します！



- 日時 令和6年12月25日(水)
17時30分～19時30分(19時受付終了)
- 場所 教育福祉センター
- 内容
 - ◎フードドライブ(食品の寄付受付)
 - ◎フードパントリー(食品の無料配布) 事前予約制 100世帯
 - ◎nicoキッチン(食事のふるまい) 先着順 限定200食
 - ◎イルミネーション 等



※詳しくは社協ホームページ等をご覧ください!!

～フードドライブ(食品の寄付受付)についてのごお願い～

フードドライブの活動も5年目となりました。改めて、フードドライブ(食品の寄付受付)のルールをお知らせしますのでご協力お願いします。「これはどうかな?」と迷うときは、お気軽にお問い合わせください。



◆寄付いただきたいもの

- 未開封のもの
- 賞味期限まで2か月以上あるもの

※寄付いただけないもの

賞味期限が記載されていないもの、
要冷蔵・冷凍商品、酒類、医薬品 等

【お問合せ先】 中津市社協 地域福祉課 自立相談支援係 TEL 0979-23-2095

講座・イベントのお知らせ

フレイル予防講座

「フレイル」とは、加齢とともに心身の活力が低下して、介護を必要とするリスクが高まっている状態のことです。社会参加を通じたフレイル予防のポイントなどを学ぶ講座です。

【日時】令和6年10月30日（水）

10：00～12：00

【場所】中津市教育福祉センター

【お問合せ先】中津市社協 地域福祉課

TEL 0979-23-2095



支え合いスタッフ養成講座

「互いに助け合う気持ち」を基本とした、地域住民同士の支え合い活動（住民型有償サービス活動など）の担い手を養成する講座です。全3回。

【日時】①令和6年11月21日（木）

②令和6年11月28日（木）

③令和6年12月5日（木）

いずれも13：30～15：30

【場所】中津市教育福祉センター

【お問合せ先】中津市社協 地域福祉課

TEL 0979-23-2095



「男塾」珈琲講座

「男塾」珈琲講座は、自身で淹れた珈琲を他者へ振る舞い、「出会い」や「喜び」を通じて地域のサロン活動や交流の場で活躍していただくことを目的としたボランティア講座です。（定員：20名）

【日時】令和6年12月8日（日）

14：00～16：00

【場所】小楠コミュニティーセンター

【お問合せ先】中津市社協 地域福祉課

TEL 0979-23-2095



SOS声掛け捜索模擬訓練

認知症の方が行方不明になった時は、捜索に多くの方の協力が必要です。その場面を想定して、声の掛け方、発見時の対応を実際に体験できる訓練を行います。



【日時】令和6年12月9日（月）

9：40～12：30

【場所】山国中学校

【お問合せ先】中津市社協 認知症地域支援推進員

TEL 0979-27-8870

地域福祉講座『モルック』体験会

現在静かなブームとなっている軽スポーツ「モルック」を体験してみませんか。地域や職場でのイベントでも活用できますよ！

初めての方も大歓迎です！（定員：30名）

【日時】12月13日（金）

10：00～11：30

【場所】中津市教育福祉センター

【お問合せ先】中津市社協 地域福祉課

TEL 0979-23-2095



中津市社協では、ほかにも様々な講座やイベントを実施しています。詳しくは中津市社協ホームページをご覧ください。お電話でも、お気軽にお問い合わせください。



みんなおいでよ三光児童館



児童館は、0歳から18歳未満の子どもたちが自由に来て自由に帰ることが出来る児童福祉施設です。遊びの内容は、卓球やボードゲーム、ボール遊びなど好きな遊びを見つけて過ごすことが出来ます。また、異年齢の交流、ふれあいを大事にしています。

○子育て支援拠点事業『三光子育てひろば』（三光児童館内）

毎週木曜日は、未就学児のお子さんと保護者の方を対象にイベントを開催しています。
《活動内容》季節の製作・うた遊び・おはなし会・おゆずり会・おひさまカフェなど



○出張子育て支援拠点『ともだちひろば』（山国・耶馬溪・本耶馬溪地区）

三光児童館スタッフが週1回（月3回）、対象地区の公共施設へ出向き、未就学のお子さんと保護者の方を対象としたイベントや交流を行っています。

場所：中津市三光成恒421-1（三光コミュニティーセンター内）
TEL：0979-43-5194 利用時間：8：30～17：00
休館日：第1・3・5土曜・日曜・祝日・年末年始



三光児童館の
Instagram

SANKOU_JIDOUKAN



—おとなも子どももみんないっしょに楽しもう！わいわいまつり2024— 三光児童館夏まつりを行いました！

8月9日中津市内の小中高生、ふくしの里「ややま」のボランティアの方々のご協力のもと『三光児童館夏まつり～わいわいまつり2024』が行われました。夏まつりのブースは、縁日コーナー・ちびっこコーナー・飲食コーナー・そして今年は“オリンピックイヤー”ということでパラリンピックの競技種目を体験することができるパラスポーツコーナーもあり、皆さん各ブースを楽しまれました。

来場された方々、ボランティアの皆さんありがとうございました！



ファミリー・サポート・センターのご案内

ファミリー・サポート・センターとは、地域の中で、子育て支援や仕事と育児の両立ができる環境作りを目的としており、会員相互の信頼関係からなる有償の支え合い活動です。

子育てのサポートを受けたい『おねがい会員』と子育てのお手伝いをする『まかせて会員』、そして両会員の連絡調整の役割を担う『アドバイザー』から成り立っています。

『まかせて会員』になるには養成講習の受講が必要になります。

地域で子育て中の方の役に立ってみたい方、子育ての経験を活かしたい方は是非ご応募ください。

まかせて会員養成講習受講者募集

日程：令和6年11月27日（水）9：00～16：00

場所：中津市教育福祉センター（沖代町1丁目1-11）

対象：中津市に在住又は勤務されている方で、健康で積極的に参加できる20歳以上の方

※普通救命講習の受講、修了証をお持ちの方は、救命講習の受講は免除します。

【お問合せ・お申込み】

中津市社協 福祉サービス課 TEL 0979-27-7715

寄付金品について

市民皆様のあたたかいご芳志に感謝申し上げます

※5月1日から8月31日までの受付分を掲載しています。

香典返し

■中津

◇楠 見 和 子 様 (故 弘 明 様) 下池永	3万円
◇矢 野 正 広 様 (故 攻 様) 伊藤田	金一封
◇中 野 和 嘉 様 (故 博 子 様) 永添	3万円
◇中 尾 美智子 様 (故 廣 義 様) 上池永	金一封
◇三 浦 廣 子 様 (故 明 様) 中殿町	1万円
◇恩 塚 靖 子 様 (故 藤本アツ子 様) 加来	金一封
◇西 田 ムキ工 様 (故 芳 伸 様) 田尻	金一封
◇泉 律 好 様 (故 節 子 様) 下宮永	5万円
◇財 城 隆 様 (故 雅 子 様) 植野	3万円
◇荒 田 彌 生 様 (故 稔 様) 沖代町	3万円
◇城 井 謙 治 様 (故 キヨ子・政敏 様) 一ツ松	金一封
◇戸 田 一 弘 様 (故 孝 子 様) 角木	5万円
◇宮 本 節 子 様 (故 綾 子 様) 合馬	金一封
◇塔 元 聰 美 様 (故 中尾松子 様) 福島	金一封
◇楠 木 冬 紀 様 (故 康 子 様) 高瀬	金一封

■三光

◇諫 山 佳 典 様 (故 利 彦 様) 上深水	金一封
◇佐 藤 大 輔 様 (故 善 幸 様) 原口	金一封
◇柴 崎 康 久 様 (故 マチ子 様) 上秣	金一封
◇松 原 恵 子 様 (故 トシ子 様) 佐知	金一封
◇廣 池 和 平 様 (故 和 則 様) 原口	金一封
◇川 野 貴 弘 様 (故 友 淳 様) 臼木	金一封

■本耶馬溪

◇岩 波 伸 彰 様 (故 幾 代 様) 今行	7万円
◇小 野 サチ子 様 (故 保 夫 様) 西谷	金一封
◇奥 久 栄 治 様 (故 ク ミ 様) 多志田	金一封
◇中 村 忠 幸 様 (故 フミ子 様) 東谷	5万円
◇井 上 信 隆 様 (故 次 男 様) 下屋形	10万円

■耶馬溪

◇山 田 カズ子 様 (故 恒 樹 様) 金吉	金一封
◇吉 原 由美子 様 (故 政 吉 様) 小友田	3万円
◇大 坊 洋 子 様 (故 龍 美 様) 宮園	3万円
◇寺 西 修 二 様 (故 ヨシ工 様) 金吉	金一封
◇鳴 良太郎 様 (故 栄 子 様) 中畑	金一封
◇蔵 淵 一 典 様 (故 明 美 様) 平田	金一封
◇原 口 洋 様 (故 澄 子 様) 柿坂	3万円
◇橘 由美子 様 (故 晴 彦 様) 大野	30万円

◇梅 木 伸 彦 様 (故 逸 介 様) 大島	10万円
◇竹 尾 夕工子 様 (故 藤太郎 様) 平田	金一封
◇下 田 俊 臣 様 (故 柳 子 様) 平田	5万円
◇田 上 美喜雄 様 (故 愛 子 様) 山移	金一封
◇坂 田 和 通 様 (故 関 子 様) 金吉	5万円
◇山 口 明 生 様 (故 シツ子 様) 金吉	金一封
◇梶 木 繁 様 (故 多香子 様) 三尾母	金一封

■山国

◇梅 江 裕 子 様 (故 山本富美子 様) 守実	金一封
◇江 淵 照 美 様 (故 紳 生 様) 守実	金一封
◇木 田 伸 雄 様 (故 圭 助 様) 槻木	金一封
◇洪 谷 スマ子 様 (故 三木雄 様) 平小野	金一封
◇山 崎 敏 彦 様 (故 サダ子 様) 中摩	金一封
◇山 中 克 彦 様 (故 サキヨ 様) 守実	3万円
◇宝珠山 芳 久 様 (故 寅 雄 様) 槻木	金一封
◇小 松 裕 和 様 (故 国 昭 様) 宇曾	金一封
◇木 下 久 夫 様 (故 ツヤ子 様) 守実	5万円

■その他

◇武 内 和 美 様 (故 夕力ヨ 様) 日田市	金一封
◇永 岡 恭 典 様 (故 利 生 様) 福岡県春日市	金一封

一般寄付

■中津

◇弁護士法人 清源法律事務所 様	金一封
◇恒崎 保幸 様	金一封

■本耶馬溪

◇稲留 俱子 様	100,000円
----------	----------

■山国

◇西郡 スミ工 様	金一封
-----------	-----

一般寄付品

■中津

◇ダイナム大分中津店・三光店 様	食料品・日用品
◇黒土 和枝 様	車イス1台

■山国

◇西郡 スミ工 様	手作りあられ
-----------	--------

※掲載内容については寄付者ご本人の意思確認により掲載させて頂いています。



シン・みんなのふくしま祭り

ごちやリンピック

～ひろげよう!ふくしのWA～

2024年はオリンピック・
パラリンピックの開催年です!
メダルを目指して頑張りましょう!!

とき **11月17日** 日
10時～14時

ところ **中津市教育福祉センター
& プレーパーク**
中津市沖代町 1-1-11
※駐車場は100台

色々な世代の方々に楽しめる企画が
盛りだくさん!

お気軽にお越しください!!

いろいろな人や
国のことを体験しよう!



ミニ縁日や
ワークショップを
楽しもう!



ふわふわ遊具や
人力車も登場!



パラスポーツや
eスポーツコーナーも
充実!



子ども食堂や
バザーもあります!



☆新巻萬円札の肖像 渋沢栄一と福沢諭吉のクイズに挑戦! 正解者にはプレゼントも!
☆フードバンクなど開催予定! ☆キッチンカーも登場!



「DWAT」って何の略?

地震や大雨などで被害が出た地域には、全国から多くの個人・団体・企業から様々な支援が行われます。

DWAT (ディーワット) は民間の福祉専門職で構成する災害派遣福祉チームのことで、「Disaster Welfare Assistance Team」の頭文字を取って略したものです。一般避難所の要配慮者(高齢者や障がい者、子どもなど)に対して、生活機能の低下や要介護度の重度化など二次被害を予防するために相談対応など福祉支援を行います。中津市社協においても大分DWATに職員を登録し、できる限り協力していきます。

ちなみに、専門的な訓練を受けた医師や看護師などで構成する災害派遣医療チーム「DMAT (ディーマツト)」もあります。